

平成30年度

事業報告書

自 平成30年4月 1日
至 平成31年3月31日

公益財団法人 根津美術館

東京都港区南青山6丁目5番1号

目次

| | |
|-----------------------------------|----|
| I 公益事業..... | 3 |
| 【事業の趣旨】 | 3 |
| 【施設の概要】 | 3 |
| 【事業の概要】 | 3 |
| 1. 展示活動..... | 3 |
| (1) 特別展・企画展 | 3 |
| (2) 日本庭園 | 5 |
| (3) ミュージアムショップ | 5 |
| (4) 喫茶店..... | 6 |
| 2. 美術品の収集、保管及び修復..... | 6 |
| (1) 美術品の購入..... | 6 |
| (2) 美術品の保管・修復..... | 6 |
| (3) 美術品の寄贈受入..... | 7 |
| (4) 美術品の寄託受入..... | 7 |
| 3. 調査研究..... | 7 |
| (1) 調査・研究..... | 7 |
| (2) データベース | 8 |
| (3) 研究資料の整備 | 8 |
| (4) 学術プロジェクトへの参加..... | 8 |
| (5) 美術品の閲覧..... | 9 |
| 4. 教育普及..... | 10 |
| (1) 催事..... | 10 |
| (2) インターネットによる広報..... | 12 |
| (3) プレスリリース | 12 |
| (4) ポスター・チラシ・年間スケジュールパンフレット | 12 |
| (5) 内覧会・レセプション | 12 |
| (6) 施設案内パンフレット | 13 |
| (7) 他美術館との協力..... | 13 |
| (8) 地域との連携..... | 13 |
| (9) 有料広告 | 14 |
| (10) 根津倶楽部..... | 14 |
| (11) NEZUNET | 14 |
| (12) 青山茶会..... | 14 |
| (13) 美術品の館外貸出..... | 15 |
| (14) 画像の貸出..... | 18 |
| (15) 施設の貸与..... | 18 |
| II 収益事業..... | 19 |

| | |
|--------------------|----|
| 【事業の概要】 | 19 |
| 1. 不動産事業 | 19 |
| Ⅲ 庶務の概要 | 20 |
| 1. 役員 | 20 |
| 2. 職員 | 22 |
| 3. 役員会 | 23 |
| (1) 理事会 | 23 |
| (2) 評議員会 | 25 |
| Ⅳ 事業報告の附属明細書 | 27 |

I 公益事業

【事業の趣旨】

昭和 15 年(1940) 11 月、初代根津嘉一郎(1860~1940)の遺志により財団法人を設立、翌年 10 月に開館した根津美術館は、美術品の展示及び教育・普及活動を行うことにより、多くの人々が日本・東洋古美術を鑑賞し、芸術・文化に関する理解を深めることを目的とした諸事業を展開している。

今年度もその理念に基づき、特別展 2 回と所蔵美術品による企画展 4 回を開催し、展覧会に関連した講演会、会員向けプログラム、施設を利用した催事などを実施した。

所蔵美術品の調査研究を行い、その成果を館内外での発表や紀要や図録等の刊行物により公表し、館外の学術研究及び教育普及活動への協力などを行った。また、継続的な収集活動によってコレクションの充実を図り、修復などによる美術品の維持・管理に努めた。

【施設の概要】

平成 21 年 10 月に新創開館した本館は地上 2 階(展示室 1~6 など)、地下 1 階(講堂など)。平成 2 年に建設した展示施設を同 19 年に収蔵庫と事務室に改装した事務棟は地上 2 階、地下 1 階からなる。平成 21 年度地域新エネルギー等導入促進対策費補助金補助事業で導入した、本館 2 階屋根上の 252 枚のソーラーシステムパネルを引き続き運用し、資源エネルギーの活用に努めている。

平成 30 年度は、新創開館後 10 年目を迎え、建物の経年劣化への対応及び東京オリンピック開催に伴う来館者数の増加に備えるため、建物の大規模修繕、並びに池のヘドロの浚渫を含む日本庭園の整備を行った。また、書類資料の保管スペース対応のため、茅場町日殖ビルの 6 階を借り受けた。

日本庭園には、薬師堂および茶室 4 棟があり、各所に石造物約 150 件が据えられている。庭園の豊かな樹木は港区の保護樹林に指定されている。

【事業の概要】

1. 展示活動

(1) 特別展・企画展

美術館の開館時間は、午前 10 時から午後 5 時までとし、月曜日と展示替期間及び年末年始を除く毎日開館した。特別展「光琳と乾山ー芸術家兄弟・響き合う美意識ー」会期中の 5 月 8 日(火)より 5 月 13 日(日)までの開催日 6 日間は、午後 7 時まで開館時間を延長した。

入館料は、特別展の場合一般 1,300 円、学生 1,000 円、企画展では一般 1,100 円、学生 800 円とし、いずれも中学生以下は無料とした。20 名以上の団体、障害者手帳提示者と同伴 1 名及び運転経歴証明書提示者へは 1 名につき 200 円の割引を行い、また 200 円割引料金の次回展の前売券を美術館内で販売した。

平成 30 年度は、開館日数計 212 日間に、来館者 226,585 名(うち有料来館 208,096 名)を迎えた。

1 階展示室 1(場合により展示室 2、5 を含む)では、下記の 6 回の特別展及び企画展を開催し、同時に、展示室 2 あるいは 5 では、特別展・企画展の内容とのバランスをはかり、それと異なるあるいは連動するジャンルやテーマに基づくテーマ展示を、また展示室 6 では季節に合わせた茶道具の展示を下記のとおり行った。

また、ホール~展示室 3「仏教美術の魅力」では、展示室 3 に金銅仏(9 月から木彫仏に展示替え)を展示した。

展示室 4「古代中国の青銅器」は平成 25 年度より、展示作品の一部にテーマ性のある展示を行っており、今年度は「葡萄文の鏡」「お月見にちなんで」「古代の吉祥文」のテーマで鏡をを展示した。

特別展は当館の所蔵美術品のみならず館外から借用する美術品も含めて構成し、企画展は所蔵美術

品を中心に、適宜特別出品、参考出品などの作品により構成した。いずれの展覧会も、当館学芸部が企画し、担当学芸員が中心となって、作品の選定、運搬、会場構成、展示、特別展図録、関連する所蔵品図録などの作成を行った。また、鑑賞しやすさを考慮した展示に努め、国内外からの来館者が理解しやすい日本語・英語表記の展示解説を付し、日本語の音声ガイドを備えた。また、外部業者に委託して、館内巡回の徹底と、来館者対応を補完し、快適な鑑賞環境の向上に努めた。

- ・特別展「光琳と乾山 ー芸術家兄弟・響き合う美意識ー」 展示室 1・2・5
平成 30 年 4 月 14 日（土）～5 月 13 日（日） 展示日数 27 日間
同時開催「初風炉の茶」 展示室 6
入館者 58,703 名（有料 54,318 名）
- ・企画展「はじめての古美術鑑賞 ー漆の装飾と技法ー」 展示室 1・2
平成 30 年 5 月 24 日（木）～7 月 8 日（日） 展示日数 40 日間
同時開催「茶道具の銘と和歌」 展示室 5
「季夏の茶の湯 ー名水立ー」 展示室 6
入館者 39,130 名（有料 36,203 名）
- ・企画展「禅僧の交流 ー墨蹟と水墨画を楽しむー」 展示室 1・2
平成 30 年 9 月 1 日（土）～10 月 8 日（月・祝） 展示日数 33 日間
同時開催「小袖の文様」 展示室 5
「名残の茶」 展示室 6
入館者 27,319 名（有料 25,198 名）
- ・特別展「新・桃山の茶陶」 展示室 1・2
平成 30 年 10 月 20 日（土）～12 月 16 日（日） 展示日数 50 日間
同時開催「手鑑」 展示室 5
「茶人の正月 ー開炉ー」 展示室 6
入館者 48,373 名（有料 44,899 名）
- ・企画展「酒吞童子絵巻 ー鬼退治のものがたりー」 展示室 1・2
平成 31 年 1 月 10 日（木）～2 月 17 日（日） 展示日数 34 日間
同時開催「百椿図」 展示室 5
「初釜ー新春を寿ぐー」 展示室 6
入館者 28,969 名（有料 25,862 名）
- ・企画展「ほとけをめぐる花の美術」 展示室 1・2
平成 31 年 2 月 28 日（木）～3 月 31 日（日） 展示日数 28 日間
同時開催「旧竹田宮家の雛道具」 展示室 5
「暮春の茶の湯」 展示室 6
入館者 24,091 名（有料 21,616 名）

なお、近年外国人入館者の割合が増えている。過去五年間の年間平均の推移は以下の通り。

| | |
|----------|-------|
| 平成 26 年度 | 12.3% |
| 平成 27 年度 | 10.9% |
| 平成 28 年度 | 15.9% |
| 平成 29 年度 | 23.7% |
| 平成 30 年度 | 26.1% |

また、展覧会開催中、例年のとおり国内外の要人を多数お迎えした。

(2) 日本庭園

17,000平米におよぶ日本庭園は、中央に湧水の池を配する変化に富んだ地形に喬木や灌木が茂り、池の周囲に建つ4棟の茶室や点在する約150件の石造物が風情を添える。四季に応じた自然の変化を楽しむことのできる庭園の存在は、当館の特色のひとつでもある。当年度は、樹木の剪定・枯枝の除去、散策路の整備等を意欲的に行い、来館者の安全安心を最優先した環境の整備に心がけ、生態系の維持管理に努めた。

平成25年10月より、原則毎月木曜日に1棟ずつ、一般来館者向けの茶室見学会を開催している。但し、4、5月は庭園内茶室での呈茶事業、7、8月は改装のための休館につき見学会は行っていない。

[平成30年]

| | | |
|-----------|---------|------|
| 6月28日(木) | 弘仁亭・無事庵 | 53名 |
| 9月27日(木) | 閑中庵・牛部屋 | 66名 |
| 10月25日(木) | 斑鳩庵・清溪亭 | 75名 |
| 11月15日(木) | 一樹庵・披錦斎 | 136名 |
| 12月6日(木) | 弘仁亭・無事庵 | 85名 |

[平成31年]

| | | |
|----------|---------|-----|
| 1月31日(木) | 閑中庵・牛部屋 | 69名 |
| 2月28日(木) | 斑鳩庵・清溪亭 | 45名 |
| 3月21日(木) | 一樹庵・披錦斎 | 49名 |

計 578名

東京都建設局公園緑地部の呼びかけに応じ、「東京の日本庭園おもてなし協議会」に加盟5年目。春と秋に発行される「東京いい庭キャンペーン」の冊子(日本語、英語)の掲載・配布協力のほか、定期会合を通じた意見交換などの活動に参加。昨年に続き、紅葉の時期には茶室周辺の茶庭の開放とTwitterフォトギャラリーを実施。昨年を上回る投稿があり、楽しみ方として定着した感が強い。

(3) ミュージアムショップ

ホールに隣接するミュージアムショップでは、当館の施設や所蔵美術品、開催の展覧会に関連した商品を取り揃え、来館者の多様なニーズに合った、また知的欲求に適う商品の販売活動を行った。

学術研究の成果に基づく図録や研究紀要などの書籍に加え、展覧会の内容を考慮した専門書・一般書籍を販売するとともに、出展作品の絵葉書やグリーティングカード類、また所蔵美術品をもとにデザイン性や適正な価格を考慮したオリジナル商品を企画・制作・販売した。さらに、適宜、季節や展覧会のテーマに合った委託商品を加えることでバリエーション豊かな商品構成とし、また効果的なディスプレイを工夫することにより、当館ならではのショップづくりを促進した。

当年度、新たに製作したオリジナル商品は9品目13種。その中で、国宝「燕子花図屏風」(尾形光琳筆)をモチーフとした折り畳み傘が好評につき、同じ柄の長傘を製品化した。また、珠光緞子の生地を表紙としたご朱印帖も新たに製品化した。

引き続き山梨市の根津記念館「ミュージアムショップ平等」に商品および出版物の販売を、また東京国立博物館に加え、京都国立博物館・九州国立博物館のミュージアムショップに出版物の販売を委託し、さらに所蔵美術品の貸出先のミュージアムショップには、展覧会の会期中絵葉書などのオリジナル商品の販売を委託した。

(4) 喫茶店

庭園内に設置された NEZUCAFÉ は、来館者の憩いや談話の場である。定番の商品に、季節に応じた新商品を適宜加えることでメニューに変化をつけ、魅力あるメニュー作りを行った。本年度も展覧会のテーマにちなんだ期間限定商品の開発を行い、話題性のある商品で販売促進に努めた。引き続き抹茶と展覧会テーマ、または季節にちなんだ和菓子のセットを提供した。特別展「光琳と乾山 — 芸術家兄弟・響き合う美意識 —」展期間中はカフェが混みあうため抹茶セットの提供は難しいと判断し、庭園内茶室で抹茶サービスを行った。30 日間で 4,788 名（1 日平均 160 名）が利用した。同じく、特別展「光琳と乾山 — 芸術家兄弟・響き合う美意識 —」展の夜間開館期間中に、午後 5 時からシャンパンを販売し、美術品の鑑賞と共に地の利を活かしたアフターファイブの新しい楽しみ方を提案した。食品や店内環境の衛生に万全を期すとともに、来館者の憩いや団らんの場として落ち着いた雰囲気の中で庭園の自然を眺める空間を維持し、リピーターやファン層の獲得に努めた。

2. 美術品の収集、保管及び修復

(1) 美術品の購入

本年度、下記の美術品（美術資料）を購入した。

| | |
|--------------|-----|
| 糸目煮物椀 喜三郎作 | 5 客 |
| 糸目飯椀・汁椀 喜三郎作 | 5 客 |
| 鮑目膳 喜三郎作 | 5 客 |

(2) 美術品の保管・修復

所蔵美術品の保管を万全にするために、以下の作業を行った。

(展示施設)

- ① 展示施設内の虫害に対するモニタリング調査を、年間 2 回（5 月 10 日～6 月 15 日、9 月 15 日～10 月 25 日）実施して、施設環境の監視を行なった。
- ② 展示ケース内の除塵防黴作業を、年間 2 回（7 月 23 日～7 月 31 日、12 月 18 日～12 月 21 日）行った。
- ③ 修理完了作品および虫害の可能性のある作品の被覆燻蒸施工（7 月 23 日～7 月 31 日）を行った。
- ④ 展示施設内の温湿度環境モニタリングのため、8 月 20 日にデータロガー（温湿度測定・記録計）を英国・Hanwell 社製 4000 シリーズ（計 24 台）に更新した。

(収蔵施設)

- ① 収蔵庫のカビや虫害に対するモニタリング調査を、年間 2 回（5 月 10 日～6 月 15 日、9 月 15 日～10 月 25 日）実施し、収蔵環境の監視を継続した。
- ② モニタリング調査の結果をもとに、大規模清掃を 1 回（10 月 3 日）、除塵防黴作業を 1 回（2 月 28 日～3 月 6 日）実施した。
- ③ 事務室大規模修繕工事終了後、別途写場・前室 1 の除塵防黴作業を 1 回（9 月 15 日）実施した。
- ④ 収蔵庫内の温湿度環境モニタリングのため、10 月 16 日にデータロガー（温湿度測定・記録計）を英国・Hanwell 社製 4000 シリーズ（計 15 台）に更新した。

以下の所蔵美術品の修理を実施した。

| | | | |
|---|---------------------------|---------|------------|
| ① | 補助修理 | | |
| | 重要文化財 紺紙銀字華嚴経卷第四十六(二月堂焼経) | 1 卷 | 半田九清堂 |
| ② | 自費修理および手入 | | |
| | 伊勢参詣図屏風 | 6 曲 1 隻 | 半田九清堂 |
| | 地藏地獄図 | 1 幅 | 半田九清堂 |
| | 瑜伽師地論 卷第二十四 | 1 卷 | 半田九清堂 |
| | 大乘同性経 卷上 | 1 卷 | 半田九清堂 |
| | 十誦律 卷第五十六 | 1 卷 | 半田九清堂 |
| | 大津絵貼交屏風 (応急修理) | 6 曲 1 隻 | 半田九清堂 |
| | 那智滝図 | 1 幅 | 岡墨光堂 |
| | 伊賀瓢形水指 銘呂洞賓 | 1 口 | ますぶち工房 |
| | 信楽花入 | 1 口 | ますぶち工房 |
| | 伊賀播座水指 銘大出来 | 1 口 | ますぶち工房 |
| | 刀剣手入 | 174 振 | 本阿弥雅夫 |
| | 中箱袋 (節季大海茶入付属) | 1 個 | 三浦和子 |
| | 仕覆 (御所丸茶碗付属) | 1 個 | 三浦和子 |
| | 中箱袋 (御所丸茶碗付属) | 1 個 | 三浦和子 |
| | 帝釈天像 (応急修理) | 1 軀 | 明古堂 |
| | 住吉彩画見台 (応急修理) | 1 基 | 目白漆芸文化財研究所 |

(3) 美術品の寄贈受入

本年度、美術品の寄贈はなかった。

(4) 美術品の寄託受入

本年度、美術品の寄託はなかった。

3. 調査研究

(1) 調査・研究

引き続き、所蔵美術品および展覧会に関わる調査・研究を行い、新たな知見を館内での講演会や館外での学会などで発表するとともに、研究成果にもとづく研究紀要、展覧会図録および所蔵品図録を出版した。

① 紀要

『根津美術館紀要 此君 第10号 特集 光村コレクションの諸相』

平成31年3月30日発行

800部

② 展覧会図録

『光琳と乾山 芸術家兄弟・響き合う美意識』

平成30年4月13日発行

5,000部

『新・桃山の茶陶』

平成30年10月20日発行

5,000部

③ その他

『青山緑水』

平成30年10月18日発行

4,000部

(2) データベース

平成 21 年度に基本システムが完成した当館の収蔵品データベースについて、データの入力・更新、デジタル画像の登録、ならびにシステムの改善を行った。アルバイトを通年で 2 名雇用し、下記の作業を行った。

- ① 引き続き、展示履歴および作品解説の入力作業を行った。また、やはり前年に引き続き、画像の閲覧性を高めるべく、画像の配列を改良した。
- ② 新規撮影したデジタル画像およびポジフィルムの高精細デジタル画像の登録を、引き続き行った。

(3) 研究資料の整備

美術品の調査・研究に必要な研究図書や研究資料の購入・収集・整理を行った。

- ① 昨年度に引き続き、図書の受入や収蔵図書データベースの整備や修正を行うことで、図書管理体制の充実化を図った。アルバイト 2 名を雇用し、購入・受贈図書の新規受け入れの他、一般図書の曝書（蔵書点検）と、データの見直し及び修正を終了した。また、事務所拡充に伴い図書室が 2 か所になったため、配架の見直しと移動作業を行った。
- ② 本年度に刊行した図録および紀要を、国内 241、海外 108 機関に贈呈し、また美術館・博物館など 257 機関の学術刊行物、および当館作品掲載図書など 848 冊を受贈した。
- ③ 展覧会の開催や当館所蔵品の研究のため、193 冊の図書・雑誌を購入した。

(4) 学術プロジェクトへの参加

・館外の研究・教育機関の依頼により、下記の通り当館学芸員が講演を行った。

- | | |
|------|---|
| 西田宏子 | The Dresden Porcelain Project Workshop “Stoneware from Kyoto and Osaka and other new discoveries” ブリティッシュコロンビア大学 The Conference on “Korean Tea Bowls” “New view on the Ido type tea bowl” |
| 松原茂 | 東京国立博物館 法隆寺献納宝物特別調査（第 39 次）「文王呂尚・商山四皓図屏風」 第 39 回杏雨書屋研究講演会「絵巻物の模本をめぐって」 松崎天神縁起絵巻研究会シンポジウム |
| 野口剛 | リートベルク美術館国際シンポジウム “Rosetsu in Context,” <i>The Tiger and Departure from Realistic Representation: Nagasawa Rosetsu in Comparison to His Master Maruyama Ōkyo</i> チューリッヒ大学国際シンポジウム “Rethinking the Life and Work of Nagasawa Rosetsu,” <i>Moonlight and the Return of Sentiment: Nagasawa Rosetsu in Comparison to His Master Maruyama Ōkyo</i> |
| 本田諭 | 那須塩原市那須野が原博物館講演「小泉斐と田谷芝斎—新発見の小泉斐「縮図帖」と斐の高弟・田谷芝斎の画業—」 |

・文部科学省および各教育委員会の要請により、下記の通り、当館学芸員が、美術品の指定、保存、国家補償などに関わる会議に委員として参画した。

- | | |
|------|---|
| 西田宏子 | 佐賀県文化財保護審議会 |
| 松原茂 | 文化庁登録美術品調査研究協力者会議 宮内庁三の丸尚蔵館収蔵品の保存・公開の在り方に関する有識者懇談会 |

本田諭 宇都宮市教育委員会文化財保護審議委員会
 足利市教育委員会文化財専門委員会
 塩谷町佐貫石仏保存管理活用検討委員会

白原由起子 文化庁文化審議会美術品補償制度部会・専門調査会
 国際博物館会議京都大会（ICOM KYOTO 2019）運営委員会
 日米文化教育交流会議（CULCON）美術対話委員会
 外務省主催 国際問題プレゼンテーションコンテスト・審査員

永田智世 文化庁文化財部 漆工の無形文化財にかかる調査

・独立行政法人および公私立の博物館・美術館の要請により、下記の通り、当館学芸員が、美術品の購入・修理、館の運営などに関わる会議に委員として参画した。

松原茂 東京国立博物館有形文化財買取協議会
 奈良国立博物館陳列品買取等協議会
 九州国立博物館買取評価会
 東京藝術大学芸術資料評価委員会
 千葉県美術館美術品等収集審査会
 板橋区立美術館運営協議会
 筆の里工房 寄贈予定作品の査定

本田諭 東京国立博物館有形文化財買取評価会
 東京国立博物館有形文化財価格評価会
 佐野市立吉澤記念美術館運営協議会

（５）美術品の閲覧

所蔵美術品の閲覧申請を受け、研究の目的や学術的成果が期待でき、且つ作品が安全な状態であることを確認のうえ、以下 17 件の研究に協力した。

| 閲覧日 | 所属 | 閲覧作品 |
|-----------|--------------|-------------------------|
| [平成 30 年] | | |
| 7 月 8 日 | 神戸大学（2 名） | 重要文化財「春日宮曼荼羅」 他 2 件 |
| 7 月 20 日 | 筑波大学（3 名） | 「天龍山石窟 菩薩像上身」 他 1 件 |
| 7 月 24 日 | 森真理子氏（2 名） | 重要文化財「肩衝茶入 銘 松屋」 ほか 6 件 |
| 10 月 12 日 | 大阪歴史博物館（1 名） | 「千鳥蒔絵脇指拵附銀刀」 他 7 件 |
| 11 月 21 日 | 都留文科大学（2 名） | 「玉藻前物語絵巻」 |
| 11 月 24 日 | 東京国立博物館（1 名） | 「蓮池蒔絵経箱」 他 11 件 |
| 12 月 8 日 | MOA美術館（2 名） | 重要文化財「色絵山寺図茶壺」 他 8 件 |
| 12 月 9 日 | 松村真希子氏（2 名） | 「薩摩茶入 銘 亀の尾」 他 1 件 |
| 12 月 14 日 | 上海博物館（3 名） | 国宝 伝李安忠筆「鶉図」 他 1 件 |
| [平成 31 年] | | |
| 1 月 18 日 | 奥平俊六氏（1 名） | 「洛中洛外図屏風」 他 1 件 |
| 1 月 31 日 | 茶道資料館（1 名） | 重要文化財「堅手茶碗 銘 長崎」 他 5 件 |
| 3 月 7 日 | 筑波大学（2 名） | 藝愛筆「花鳥図屏風」 他 2 件 |
| 3 月 15 日 | 九州国立博物館（1 名） | 重要文化財「肩衝茶入 銘 松屋」 |
| 3 月 21 日 | 富山大学（3 名） | 「三角縁多乳神獣文鏡」 他 4 件 |

3月26日 九州国立博物館（1名） 重要文化財「花白河蒔絵硯箱」 他1件
 3月28日 学習院大学（7名） 重要文化財 芸阿弥筆「観瀑図」 他5件
 計16件 閲覧者34名 作品総数71件

4. 教育普及

(1) 催事

引き続き、各展覧会に関連して、館内外の講師による講演会を講堂で開催した（参加費無料、定員130名）。また、担当学芸員が、講堂にてスライド・レクチャーを随時実施した。

[平成30年]

- ・特別展「光琳と乾山 ―芸術家兄弟・響き合う美意識―」
 - スペシャルトーク：4月28日（土）
 - 荒川正明氏（学習院大学 教授）
 - 野口 剛（当館 学芸課長）
 - 「光琳と乾山 美意識はどのように響き合ったか」 聴講 161名
 - モーニング・レクチャー：4月17日（火） 野口剛「光琳と乾山」 聴講 145名
 - 4月27日（金） 野口剛「光琳と乾山」 聴講 153名
 - イブニング・レクチャー：5月8日（火） 野口剛「光琳と乾山」 聴講 146名
- ・企画展「はじめての古美術鑑賞―漆の技法―」
 - スペシャルトーク：6月3日（日）
 - 田中信行氏（漆造形作家、金沢美術工芸大学 教授）
 - 西田宏子（当館 顧問）
 - 「漆の今、そして未来」 聴講 157名
 - スライド・レクチャー：6月1日（金）永田智世「漆の技法―蒔絵」 聴講 130名
 - 6月8日（金）西田宏子「漆の技法―螺鈿、彫漆、存星」 聴講 155名
- ・企画展「禅僧の交流 ―墨蹟と水墨画を楽しむ―」
 - 講演会：9月15日（土）
 - 高橋範子氏（承天閣美術館 副館長・学芸統括）
 - 「禅僧たちの風雅―海を越えて」 聴講 121名
 - スライド・レクチャー：9月7日（金） 福島洋子「禅僧の交流」 聴講 111名
 - 9月28日（金） 福島洋子「禅僧の交流」 聴講 111名
 - 特別レクチャー：9月21日（金） 福島洋子「超・入門―墨蹟とは？」 聴講 113名
- ・特別展「新・桃山の茶陶」
 - シンポジウム：11月17日（土）
 - 畑中英二氏（京都市立芸術大学 准教授）「京都三条瀬戸物屋町出土陶片―その問題の所在―」
 - 岡佳子氏（大手前大学 教授）「近世初期の茶陶の流通と京都」
 - 桜井英治氏（東京大学 教授）「流通史のなかの桃山茶陶」
 - 「桃山の茶陶 ～どのようにつくられ、どのように売られたか～」 聴講 98名
 - 講演会：11月10日（土）
 - 西田宏子（当館 顧問）
 - 「それは、京都三条から始まった」 聴講 132名
 - スライド・レクチャー：11月2日（金） 下村奈穂子「新・桃山の茶陶」 聴講 116名
 - 11月16日（金） 下村奈穂子「新・桃山の茶陶」 聴講 108名

11月30日(金) 松原茂「手鑑というもの」 聴講 100名
12月7日(金) 下村奈穂子「新・桃山の茶陶」 聴講 124名

[平成31年]

- ・企画展「酒呑童子絵巻 - 鬼退治のものがたり -」

講演会：2月9日(土)

松原茂(当館 学芸部長)

「住吉弘尚の酒呑童子絵巻制作」

聴講 96名

スライド・レクチャー：1月18日(金) 野口剛 「百椿図」

聴講 82名

1月25日(金) 松原茂「酒呑童子絵巻」

聴講 159名

- ・企画展「ほとけをめぐる花の美術」

講演会：3月23日(土)

伊藤信二氏(東京国立博物館 博物館教育課長)

「ほとけをかざる - 荘厳と花 -」

聴講 118名

スライド・レクチャー：3月8日(金) 永田智世「雛道具と婚礼調度」

聴講 61名

3月15日(金) 白原由起子「ほとけをめぐる花の美術」

聴講 103名

3月29日(金) 白原由起子「ほとけをめぐる花の美術」

聴講 133名

加えて、本年度は、特別企画として以下の催事を実施した。

【無料】

- ・能管(笛)による仕舞「杜若」：5月10日(木) 17:30～ 於1階ホール

観世鍔之丞師(能楽師)

参加者約250名

- ・七夕飾り：6月26日(火)～7月8日(日)

参加者約200名

- ・茶室でたのしむ椿のころも「百椿図」に寄せて：2月15日(金)～17日(日) 於弘仁亭

小原宏貴氏(いけばな小原流 五世家元)

参加者 1,186名

【有料】

- ・「蒔絵のハーブをたのしむ」：7月1日(土)

講師：吉野直子氏(ハーブ奏者)

室瀬和美氏(漆芸家・重要無形文化財「蒔絵」保持者)

定員120名 参加費2,500円(中学生以上)

申込者120名、参加者138名

(関係者を含む)

- ・「茶杓をけずってみよう」：9月29日(土)

講師：池田泰輔氏(竹楽会講師・竹芸家)

定員40名 参加費8,000円(18歳以上)

申込者40名、参加者39名

- ・「現代茶人の茶席」：於披錦斎、弘仁亭(11/29のみ)

10月28日(日) 小林啓文氏(弁護士)

10月31日(水) 池田瓢阿(竹芸家)

11月29日(木) 赤井厚雄氏(株式会社ナウキャスト取締役会長)

12月16日(日) 森万里子(現代アーティスト)

各日定員100名(20名×5席) 参加費5,000円 申込者400名、総参加者390名

- ・「はじめての茶席 - 茶人の正月 -」：11月22日(木) 於披錦斎

定員120名(20名×6席) 参加費3,000円

申込者121名、参加者114名

・「はじめての茶席」：3月14日（木） 於披錦齋

定員 80 名（15 名×6 席） 参加費 3,000 円

申込者 90 名、参加者 83 名

（2）インターネットによる広報

展覧会や各種の催事、施設などの情報発信窓口である当館ウェブサイト (<http://www.nezu-muse.or.jp>) は目下、日本語版と英語版をそれぞれPC、携帯端末の双方で適正に閲覧できるかたちで運営している。年間の閲覧回数は1,250,764アクセス（月平均104,230アクセス）、ユーザー数は837,802名（月平均69,817名）を数えるが、ユーザーのうち約15%が日本語以外の言語環境、また約9%が日本以外の地域からアクセスしている。なお、約67パーセントのユーザーが、スマートフォンもしくはタブレット端末で閲覧している。

ウェブサイトに次ぐ情報発信ツールとして利用している Facebook のフォロワー数は期初の約33,000名から、約35,000名に増加した。Twitterでのフォロワー数も期初の約28,000名から約31,000名となった。

（3）プレスリリース

美術館や展覧会の情報を、各種メディアに告知するプレスリリースを発信し、各展覧会の開催時期に合わせた各種パブリシティへの掲載、雑誌での特集記事やテレビ番組への協力を促進した。特に、展覧会ごとのポスター・チラシのデザインをプレスリリースにも使用し、展覧会のコンセプトを一貫したイメージで訴求できるように、それに伴う制作スケジュールの管理・運用を行っている。また同時に、ミュージアムショップやカフェの新商品などの告知リリースも配信し、多様なメディアに掲載されることを促し、それによる美術館・展覧会の認知度向上に引き続き努めた。さらに国内のみならず、海外の各種メディアからの問い合わせに対して情報を提供し、ニーズに合った対応に努めた。

（4）ポスター・チラシ・年間スケジュールパンフレット

引き続き、館外3か所に開催中の展覧会ポスターを掲示。館内には次回展のポスターとチラシや、年間スケジュール、根津倶楽部パンフレットを常備し、美術館および展覧会の認知度アップに努めた。英語版の館内配布用展示目録パンフレットならびに英語版チラシの作成・配布を引き続き行った。今年度も、各展覧会の開催時期に合わせ、近隣の商店や公共施設、文化教育施設、美術館、博物館、古美術商などに展覧会のポスターやチラシを配布し、各展覧会の内容に即した特定団体への情報提供を行うなど、きめ細かな誘客活動を行い、さらに、外国人集客に力を入れている東京都や観光庁の旅行案内所、都内主要ホテルへのチラシの定期提供ルートも引き続き開拓した。

（5）内覧会・レセプション

展覧会の開催日前日（年度内6回）に、各種メディア向けの記者内覧会を実施して、展覧会の担当学芸員による展示解説を行い、メディアによる宣伝活動の促進を目指した。この記者内覧会に加え、30年度は春・秋の特別展に際し、美術関係の招待客を対象に特別内覧会及びレセプションも実施し、業界関係者や教育者などを通じての宣伝や誘客を図った。

・特別展「光琳と乾山 ー芸術家兄弟・響き合う美意識ー」：4月13日（金）

記者内覧会 出席者 70名

特別内覧会 出席者 586名

・企画展「はじめての古美術鑑賞 ー漆の装飾と技法ー」：5月23日（水）

記者内覧会 出席者 50名

- ・企画展「禅僧の交流 ―墨蹟と水墨画を楽しむ―」：8月31日（金）
記者内覧会 出席者 46名
- ・特別展「新・桃山の茶陶」：10月19日（金）
記者内覧会 出席者 46名
特別内覧会 出席者 433名
- ・企画展「酒呑童子絵巻 ―鬼退治のものがたり―」：1月9日（水）
記者内覧会 出席者 39名
- ・企画展「ほとけをめぐる花の美術」：2月27日（水） 記者内覧会 出席者 38名

（6）施設案内パンフレット

日本語・英語・仏語・中国語・韓国語のパンフレットを館内に常備している。また外部の観光案内施設などから要望がある場合も送付サービスを行っている。

（7）他美術館との協力

- ・特別展「新・桃山の茶陶」（10/20-12/16）の会期中、三井記念美術館、五島美術館との共同企画として「秋の三館 美をめぐる 2018」キャンペーンを実施した。これは、他館がキャンペーン対象とする秋季の展覧会の入館券の半券を持参した来館者の入館料の100円割引、さらに3館の対象展覧会の入館済み半券を持参した来館者をいずれか1館の次回展に無料招待するもので、2013年度より実施している。展覧会が集中する秋季での各館への誘客強化とともに、当館次回展への認知と誘客を狙うもので、このキャンペーンによる割引を利用した入館者は726名（総入館者数の1%超）、次回展「酒呑童子絵巻―鬼退治のものがたり―」への招待入館者は268名であった。
- ・引き続き、美術館関連団体に加入することで、他の美術館との情報交換を推進し、美術館業界の活性化に努めた。

（8）地域との連携

- ・港区内の美術館として、本年度も、同区が年2回発行する広報誌『港区ミュージアムネットワーク』に展覧会情報を掲載し、読者への招待券プレゼント企画に協力した。
- ・毎年10月に開催され、当館も参加している港区主催の「みなと区民まつり」では、記念バッジ購入者向け特典として区内施設が入館料割引を実施した。
- ・昨年度の港区Kissポート財団20周年企画として行った講演会が好評だったため毎年続けていきたいという希望を受け、9月に港区立青山生涯学習館で、根津美術館の紹介と企画展「禅僧の交流―墨蹟と水墨画を楽しむ―」の見どころについて担当学芸員が講演を行った。
- ・昨年に続き港区保健福祉支援部高齢者支援主催の65歳以上の高齢者向けイベント「ゆうゆうミュージアム巡り」で、今年度は12月に、10名の参加者（20名の予定のところ）を迎え、担当学芸員が特別展「新・桃山の茶陶」の見どころを解説した。
- ・展覧会のポスターやチラシを館員が持参して近隣商店や団体に届けることにより、緊密な関係構築に努めた。
- ・近隣の港区立青南小学校3年生の「総合」学習の一環として、近隣施設見学授業への協力要請があり、7月に企画展「はじめての古美術鑑賞―漆の技法と装飾―」見学に児童28名、引率教員1名を受け入れた。
- ・港区内の小学校に併設されている学童保育施設「放課Go!クラブ」の青南教室の児童の展示見学受け入れを、毎展覧会で実施。毎回1～4年生20名ほどが来館。そのうち2回は青山教室、筈教室とも合同で、30名規模で実施。

- ・武蔵大学国際部からの依頼により、同校の提携大学であるオーストラリアのディーキン大学の学生が日本の企業または団体の仕組み・課題を学んだうえで課題解決のための提案をプレゼンテーションし、冊子にまとめ報告するというプログラムに協力した。

(9) 有料広告

- ・開催6 展覧会それぞれに1~2 紙のクーポン付新聞広告(100 円割引券付)を掲載した。

各展での掲出状況とクーポン利用者集計は以下の通り：

| | | | |
|---------------------------|-----------|-------------|--------|
| 特別展「光琳と乾山ー芸術家兄弟・響き合う美意識ー」 | 計 1,620 名 | (朝日朝刊・読売夕刊) | (3%) |
| 企画展「はじめての古美術鑑賞ー漆の装飾と技法ー」 | 計 196 名 | (朝日夕刊・日経夕刊) | (1%) |
| 企画展「禅僧の交流ー墨蹟と水墨画を楽しむー」 | 計 144 名 | (朝日夕刊・日経夕刊) | (1%) |
| 特別展「新・桃山の茶陶」 | 計 599 名 | (朝日朝刊・日経夕刊) | (1%) |
| 企画展「酒呑童子ー鬼退治のものがたりー」 | 計 131 名 | (朝日夕刊) | (5%) |
| 企画展「ほとけをめぐる花の美術」 | 計 112 名 | (朝日夕刊) | (0.5%) |

注：日経新聞(新・桃山の茶陶展)、読売新聞への出稿は、朝日新聞に出稿することで得られる特典。

- ・本年度も引き続き、地下鉄・表参道駅のポスター(チラシ配布用ポケット付)掲示を、すべての展覧会において2 週間ずつ実施した。これを通じ、駅利用者に毎回300 枚~400 枚程度のチラシを配布することができた。

(10) 根津倶楽部

「根津倶楽部」は、固定客層の獲得を目的として、2009 年に開始した会員組織であり、平成24 年7 月より新たな制度に移行し、入会金3,000 円、年会費8,000 円で展覧会ごとの案内葉書と1 名の招待券を送付し、会員証の提示で入館料無料、ミュージアムショップの1 割引(一部商品を除く)の特典を提供している。平成30 年度は最終3 か月新規募集を休止したこともあり、会員が30 名減少し、年度末の会員数は658 名となった。

(11) NEZUNET

根津美術館の会員制メールマガジン「NEZUNET」(会費無料)は、新創開館以来会員数が増え続け、平成30 年度は会員が657 名増加し、年度末現在の会員数は7,038 名となった。当年度は7 回メールマガジンを配信した。

(12) 青山茶会

「青山茶会」は、茶道にある程度習熟した人々を対象に、茶道美術への理解と普及、および当館のファンやリピーターを増すことを目的として、1 会期5 万5 千円の会費で、年4 回の茶会と4 回の講座への参加及び入館料無料の特典を提供する会員制度である。平成30 年度・第六期会員172 名が在籍しており、下記の講座と茶会を開催した。また今期より、茶会の会に限り会員以外でも一名当り2 万円で参加ができる臨時券の販売を開始した。下記茶会には臨時券での参加者を含んでいる。

[平成30 年]

| | | |
|-------|-----------------|-----------|
| 第一回講座 | 4 月 14 日 (土) | 参加者 141 名 |
| | 講師：原田茂弘氏「茶人の手紙」 | |
| 第一回茶会 | 6 月 9 日 (土) | 参加者 193 名 |
| | 席主：武者小路千家 千宗守氏 | |

| | | |
|---------|--|----------|
| 第二回講座 | 7月7日(土) 講師：小林仁氏「唐物天目の新知見 - 曜変天目を中心に」 | 参加者 136名 |
| 第三回講座 | 9月1日(土) 講師：竹本千鶴氏「織田信長の「大名茶湯」とそれを支えた家臣の有閑」 | 参加者 138名 |
| 第二回茶会 | 12月1日(土) 席主：表千家不審菴 | 参加者 195名 |
| [平成31年] | | |
| 第三回茶会 | 2月2日(土) 席主：小堀遠州流 十六世家元 小堀宗圓氏 | 参加者 185名 |
| 第四回茶会 | 3月9日(土) 席主：鎮信流宗家 松浦章氏 | 参加者 179名 |
| 第四回講座 | 3月16日(土) 講師：小笠原小枝氏「茶の湯の染織」 | 参加者 104名 |

(13) 美術品の館外貸出

以下の展覧会および茶会に、所蔵美術品の館外貸出を行った。

・特別展「鑿の華」 佐野美術館

4月7日(土)～2018年5月20日(日)

光村利藻肖像写真 2葉ほか 計94件 155点

・特別展「名作誕生一つながる日本美術」 東京国立博物館

4月13日(金)～5月27日(日)

| | | | |
|-------|-------|-----------|------|
| 10051 | 重要文化財 | 普賢十羅刹女像 | 1幅 |
| 10328 | | 誰が袖美人図屏風 | 6曲1双 |
| 10700 | | 破墨山水図 拙宗筆 | 1幅 |

・創建1250年記念特別展「国宝 春日大社のすべて」 奈良国立博物館

4月14日(土)～6月10日(日)

| | | | |
|-------|-------|----------------------------|----|
| 10092 | 重要文化財 | 春日宮曼荼羅 | 1幅 |
| 10016 | 重要美術品 | 春日宮曼荼羅 | 1幅 |
| 10099 | | 春日宮曼荼羅 | 1幅 |
| 10103 | | 春日社寺曼荼羅 | 1幅 |
| 10093 | 重要文化財 | 春日補陀落山曼荼羅 | 1幅 |
| 00239 | | 春日若宮大般若經 卷第九、卷第一百六、卷第四百七十五 | 3帖 |
| 00286 | | 春日若宮大般若經 卷第六百 | 1巻 |
| 50481 | | 春日若宮大般若經厨子 | 1基 |

・特別展「美の力」 石川県立美術館

4月21日(土)～5月20日(日)

| | | | |
|-------|-------|----------------|----|
| 41062 | 重要文化財 | 色絵山寺図茶壺 野々村仁清作 | 1口 |
| 40288 | 重要美術品 | 曜変天目 付尼崎天目台 | 1組 |

- ・「お釈迦さんワールド ブッダになったひと」 龍谷大学龍谷ミュージアム
 4月21日（土）～6月17日（日）
 00135 重要美術品 佛本行集経 卷第三十三 1巻
- ・特別展「没後200年、大名茶人・松平不昧」 三井記念美術館
 4月21日（土）～6月17日（日）
 40267 重要文化財 堅手茶碗 銘 長崎 1口
 40352 青磁尊式花生 銘 夕端山 1口
- ・特別展「糸のみほとけ—国宝 綴織當麻曼荼羅と繡仏」 奈良国立博物館
 7月14日（土）～8月26日（日）
 10042 刺繍地藏菩薩像 1幅
- ・「生きてみる山水—廬山をのぞむ古今のまなざし—」 岡山県立美術館
 8月31日（金）～9月30日（日）
 10461 玉潤廬山図模本 紙本墨画 1幅
- ・「高麗青磁—ヒスイのきらめき」 大阪市立東洋陶磁美術館
 9月1日（土）～11月25日（日）
 40337 重要文化財 青磁蓮唐草文水瓶 1口
 40843 青磁輪花形鉢 1口
- ・「長澤蘆雪 18世紀のアヴァンギャルド」 リートベルク美術館
 9月6日（木）～11月4日（日）
 10304 重要美術品 赤壁図屏風 長澤蘆雪筆 6曲1双
- ・特別展「仏教美術の名宝」 泉屋博古館
 9月8日（土）～10月14日（日）
 20059 重要文化財 金銅釈迦多宝二仏並坐像 1軀
 20073 金銅七連仏坐像 1軀
 10099 金銅五尊仏坐像 1軀
- ・企画展「没後200年 大名茶人・松平不昧」 島根県立美術館
 9月21日（金）～11月4日（日）
 40267 重要文化財 堅手茶碗 銘 長崎 1口
 40352 青磁中蕪花入 銘 夕端山 1口
- ・特別展「西湖憧憬—西湖梅をめぐる禅僧の交流と15世紀の東国文化—」
 神奈川県立金沢文庫
 9月22日（土）～11月11日（日）
 10538 狩野栄川筆 牧谿瀟湘八景図模本 1巻

- ・特別展示「再開－興福寺の梵天と帝釈天」 興福寺国宝館
 10月1日（月）～11月15日（木）
 20024 木造帝釈天立像 定慶作 1 軀
- ・MOA 美術館改修記念特別展「信長と天正遣欧使節」 MOA 美術館
 10月5日（金）～11月4日（日）
 40218 重要文化財 青井戸茶碗 銘 柴田 1 口
 40214 重要美術品 大井戸茶碗 銘 宗及 1 口
- ・特別展「建国 1100 年 高麗—金属工芸の輝きと信仰」 大和文華館
 10月6日（土）～11月11日（日）
 30116 青銅銀象嵌梵字宝相華唐草文香炉 1 口
- ・「没後 200 年松平不昧公展」 田部美術館
 10月6日（土）～2018年11月11日（日）37日間
 40002 古瀬戸茶入 銘 大鳥大海 1 口
 40015 瀬戸玉柏手茶入 銘 村雨 1 口
 40212 井戸茶碗 銘 三芳野 1 口
- ・「土佐派と住吉派—やまと絵の荘重と軽妙」 和泉市久保惣記念美術館
 10月13日（土）～12月2日（日）
 10575 伝土佐光元筆「源氏物語画帖」 1 帖
 10143 土佐光起筆「源氏物語朝顔図」 1 幅
 10387 伝土佐光起筆「源氏物語画帖」 1 帖
 10349 住吉具慶筆「源氏物語図屏風（若菜上・下）」 6 曲 1 双
 10675 板谷慶舟筆「伊勢物語図」 2 幅
- ・特別展「フルーツ&ベジタブルズ—東アジア蔬果図の系譜—」 泉屋博古館
 11月3日（土祝）～12月9日（日）
 10395 重要文化財 瓜虫図 呂敬甫筆 1 幅
 10211 林檎鼠図 「元信」印 1 幅
- ・「扇の国、日本」 サントリー美術館
 11月28日（水）～1月20日（日）
 10371 扇面歌意画卷 1 卷
 10986 平家物語画帖 下帖 3 帖のうち 1 帖
- ・特別展「華麗なる薩摩焼—万国博覧会の時代のきらめき」
 鹿児島県歴史資料センター黎明館
 12月25日（火）～2月24日（日）
 40064 褐釉茶入 銘 後藤 1 口
 40068 褐釉手桶茶入 1 口

| | | |
|-------|------------|-----------|
| 41282 | 色絵文房具 | 1 具 (7 点) |
| 40707 | 色絵牡丹孔雀文長角皿 | 1 枚 |
| 40420 | 色絵草花文角香炉 | 1 口 |

・特別展「顔真卿 王羲之を越えた名筆」 東京国立博物館

1 月 16 日 (水) ～ 2 月 24 日 (日)

| | | |
|-------|-------------|-----|
| 00013 | 金剛般若経開題 空海筆 | 1 幅 |
|-------|-------------|-----|

・「奇想の系譜展 江戸時代絵画ミラクルワールド」 東京都美術館

2 月 9 日 (土) ～ 4 月 7 日 (日)

| | | |
|-------|--------------|---------|
| 10348 | 鈴木其一筆「夏秋溪流図」 | 6 曲 1 双 |
|-------|--------------|---------|

・「扇の国、日本」 山口県立美術館

3 月 20 日 (水) ～ 5 月 6 日 (月祝)

| | | |
|-------|-----------------|------------|
| 50036 | 扇面業平蒔絵硯箱 伝尾形光琳作 | 1 合 |
| 10986 | 平家物語画帖 上帖 | 3 帖のうち 1 帖 |
| 10371 | 扇面歌意画卷 | 1 卷 |
| 40783 | 織部重扇形平鉢 | 1 口 |

計 24 ヶ所 148 件 222 点

(14) 画像の貸出

当年度は、209 件の申請を受け、450 点の画像を館外の刊行物や研究者に提供した。その内、貸出し件数の多いものは以下の通りである。

燕子花図 57 件、夏秋溪流図 11 件、那智瀧図 10 件、平家物語画帖 9 件、漁村夕照図 6 件、春日山蒔絵 6 件。

(15) 施設の貸与

以下の講演会・茶会等に講堂・茶室等の施設を貸与し、催事への協力を行った。

・講演会他 (講堂)

| | | |
|-----------|--------------|-----|
| [平成 30 年] | 主となる団体など | 用途 |
| 5 月 9 日 | 京都造形芸術大学芸術学舎 | 見学会 |
| 5 月 26 日 | 茶の湯文化学会 | 学会 |
| [平成 31 年] | | |
| 2 月 16 日 | 茶の湯文化学会 | 学会 |
| 3 月 10 日 | 美術史学会 | 学会 |

計 4 件

・茶会 (茶室、講堂)

| | | | |
|-----------|----------|----|-------|
| [平成 30 年] | 主となる団体など | 用途 | 人数 |
| 4 月 14 日 | 高島順子 | 茶会 | 12 名 |
| 4 月 15 日 | 桂泉会 | 茶会 | 314 名 |

| | | | |
|----------|-----------------|----|------------|
| 4月29日 | 泡茶研究会 | 茶会 | 14名 |
| 5月26日 | 上田流和風堂 東京遠鐘クラブ | 茶会 | 109名 |
| 6月3日 | 宮川香齋 | 茶会 | 174名 |
| 10月21日 | 茶道宗徧流関東地区 | 茶会 | 271名 |
| 11月3日 | 三田福茶会・慶應茶道会 | 茶会 | 257名 |
| 11月4日 | あけび園 | 茶会 | 220名 |
| 11月6日 | 根津公一 | 茶会 | 42名 |
| 11月17日 | 若葉会 | 茶会 | 212名 |
| 11月18日 | 伝統の橋がかり | 茶会 | 58名 |
| 11月25日 | 大日本茶道協会東京支部 | 茶会 | 120名 |
| 11月27日 | なごみの会 | 茶会 | 52名 |
| 12月13日 | 日本橋倶楽部 探美会 | 茶会 | 25名 |
| [平成31年] | | | |
| 1月20日 | 東三季 | 茶会 | 53名 |
| 3月3日 | (公財)煎茶道方円流東京東支部 | 茶会 | 107名 |
| 3月17日 | 所純子 | 茶会 | 13名 |
| 3月25,26日 | (公財)大師会 | 茶会 | 641名 |
| 3月30日 | 朋和会 | 茶会 | 172名 |
| | | | 計19件2,866名 |

II 収益事業

【事業の概要】

1. 不動産事業

日本殖産興業株式会社と持分割合二分の一で建築した「青山サンライトビル」を建物の当館持分を貸店舗として日本殖産興業株式会社に賃貸し、管理は日本殖産に業務委託。他に、サンライトビル日本殖産持分の地代、駐車場の賃料、NTT ドコモの移動通信設備設置料等の収入があった。

Ⅲ 庶務の概要

1. 役員

平成 31 年 3 月 31 日現在

| 役職名 | 勤務 | 氏名 | 就任年月日 (初就任年月日) | 職歴 | | |
|------|-----|-------|--|------------------------|--------------------|----|
| | | | | 現職名 | 最終公務員暦・同一業界 関係歴 | |
| | | | | | 退職年月日 | |
| 理事長 | 非常勤 | 根津 公一 | 平成 30 年 5 月 28 日 (平成 24 年 4 月 1 日) | 株式会社東武百貨店 名誉会長 | 学校教育 | なし |
| 常務理事 | 非常勤 | 矢野 恵一 | 平成 30 年 5 月 28 日 (平成 24 年 4 月 1 日) | 公益財団法人根津美術館 常務理事 | なし | 〃 |
| 理事 | 非常勤 | 安田 弘 | 平成 30 年 5 月 28 日 (平成 24 年 4 月 1 日) | 安田不動産株式会社 顧問 | なし | 〃 |
| 〃 | 非常勤 | 島尾 新 | 平成 30 年 5 月 28 日 (平成 24 年 4 月 1 日) | 学習院大学 教授 | 学校教育 | 〃 |
| 〃 | 非常勤 | 渡邊 喜雄 | 平成 30 年 5 月 28 日 (平成 26 年 5 月 30 日) | 株式会社カインドウエア 代表取締役会長 | なし | 〃 |
| 〃 | 非常勤 | 板倉 聖哲 | 平成 30 年 5 月 28 日 (平成 26 年 5 月 30 日) | 東京大学東洋文化研究所 教授 | 学校教育 | 〃 |
| 〃 | 常勤 | 松原 茂 | 平成 30 年 5 月 28 日 (平成 26 年 5 月 30 日) | 公益財団法人根津美術館 学芸部長 | なし | 〃 |
| 〃 | 常勤 | 柳瀬 茂 | 平成 30 年 5 月 28 日 (平成 30 年 5 月 28 日) | 公益財団法人根津美術館 管理部長 | なし | 〃 |
| | | 8 名 | | | | |
| 監事 | 非常勤 | 後藤 康雄 | 平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日) | はごろもフーズ株式会社 代表取締役会長 | なし | なし |
| 〃 | 非常勤 | 中瀬 雅通 | 平成 28 年 6 月 8 日 (平成 25 年 5 月 29 日) | 株式会社三陽商会 取締役会長 | 〃 | 〃 |
| | | 2 名 | | | | |

| | | | | | | |
|-----|-----|--------|--|---------------------------|-----------------|--------------------|
| 評議員 | 非常勤 | 小林 喬 | 平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日) | 富国生命保険相互会社 相談役 | 保険業 | なし |
| 〃 | 非常勤 | 正田 修 | 平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日) | ㈱日清製粉グループ本社 名誉会長相談役 | なし | 〃 |
| 〃 | 非常勤 | 根津 嘉澄 | 平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日) | 東武鉄道株式会社 取締役社長 | 鉄道業 | 〃 |
| 〃 | 非常勤 | 秋山 智史 | 平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日) | 富国生命保険相互会社 取締役会長 | 保険業 | 〃 |
| 〃 | 非常勤 | 堀内 光一郎 | 平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日) | 富士急行株式会社 代表取締役社長 | 鉄道業 | 〃 |
| 〃 | 非常勤 | 安田 正 | 平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日) | 公益財団法人根津美術館 評議員 | 〃 | 〃 |
| 〃 | 非常勤 | 有馬 朗人 | 平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日) | 静岡文化芸術大学 理事長 | 東京大学総長 ・学校教育 | 平成 5 年 3 月 31 日 |
| 〃 | 非常勤 | 田村 妙子 | 平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日) | 公益財団法人山種美術財団 理事長 | 美術館 | なし |
| 〃 | 非常勤 | 徳川 義崇 | 平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日) | 公益財団法人徳川黎明会 会長 | 美術館 | 〃 |
| 〃 | 非常勤 | 根津 后方子 | 平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日) | 公益財団法人根津美術館 評議員 | なし | 〃 |
| 〃 | 非常勤 | 近藤 誠一 | 平成 28 年 6 月 8 日 (平成 26 年 3 月 19 日) | 近藤文化・外交研究所 代表 | 文化庁長官 | 平成 25 年 7 月 |
| 〃 | 非常勤 | 河田 正也 | 平成 29 年 5 月 24 日 (平成 29 年 5 月 24 日) | 日清紡ホールディングス(株) 代表取締役社長 | なし | なし |
| | | 12名 | | | | |

2. 職員

平成 31 年 3 月 31 日現在

| 職 名 | 勤 務 | 氏 名 | 就職年月日 | 担当事務 |
|--------------|-----|---------|------------------|--------------|
| 館 長 | 非常勤 | 根 津 公 一 | 平成 12 年 1 月 4 日 | 総 括 |
| 学芸部長 | 常 勤 | 松 原 茂 | 平成 20 年 10 月 1 日 | 日本書画史・学芸部総括 |
| 学芸 第一課長 | 常 勤 | 野 口 剛 | 平成 20 年 10 月 1 日 | 近世絵画史・情報管理 |
| 学芸 第二課長 | 常 勤 | 本 田 諭 | 平成 30 年 4 月 1 日 | 中世絵画史・環境整備 |
| 学芸第一課 | 常 勤 | 永 田 智 世 | 平成 30 年 4 月 1 日 | 漆工史・茶道・学芸庶務 |
| 学芸第一課 | 常 勤 | 下 村 奈穂子 | 平成 26 年 9 月 1 日 | 陶磁史・茶道・学芸庶務 |
| 学芸第二課 | 常 勤 | 福 島 洋 子 | 平成 21 年 4 月 1 日 | 墨跡・学芸庶務・図書管理 |
| 学芸部 特別学芸員 | 常 勤 | 白 原 由起子 | 平成 20 年 10 月 1 日 | 仏教美術史 |
| 学芸部広報課長 | 常 勤 | 所 純 子 | 平成 24 年 12 月 1 日 | 広報全般 |
| 学芸部広報課主任 | 常 勤 | 村 岡 香代子 | 平成 25 年 1 月 1 日 | 広 報 |
| 学芸部広報課 | 常 勤 | 荒 川 麻美子 | 平成 21 年 4 月 1 日 | ショップ・画像管理 |
| 管 理 部 長 | 常 勤 | 柳 瀬 茂 | 平成 30 年 1 月 1 日 | 管 理 部 総 括 |
| 管理部次長 | 常 勤 | 鈴 木 康 生 | 平成 13 年 4 月 11 日 | 設備管理・顧客サービス |
| 管 理 部 | 常 勤 | 田 中 智 子 | 平成 2 年 9 月 1 日 | 総 務 |
| 管 理 部 | 常 勤 | 松 井 麻 美 | 平成 21 年 4 月 1 日 | 顧 客 |
| 管 理 部 | 常 勤 | 須 田 瑛 生 | 平成 26 年 3 月 1 日 | 総務・会計・茶道 |
| 管 理 部 | 常 勤 | 高 室 修 | 昭和 50 年 3 月 1 日 | 施設管理 |
| | | 職員 17 名 | 他に臨時職員 27 名 | |

| | | | | |
|-----|-----|---------|------------------|-------|
| 顧 問 | 非常勤 | 矢 野 恵 一 | 平成 24 年 12 月 1 日 | 全 般 |
| 顧 問 | 常 勤 | 西 田 宏 子 | 平成 26 年 6 月 1 日 | 学 芸 部 |
| 顧 問 | 非常勤 | 波多野 定 治 | 平成 30 年 5 月 28 日 | 全 般 |
| 顧 問 | 非常勤 | 宇田川 真紀雄 | 平成 28 年 4 月 1 日 | 全 般 |
| | | 顧問 4 名 | | |

3. 役員会

(1) 理事会

開催日 平成 30 年 5 月 7 日 (月) 13 時 00 分～14 時 00 分

場 所 根津美術館 講堂

議事事項

① 第 1 号議案 平成 29 年度事業報告の件

理事長より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席理事全員一致で承認可決した。

② 第 2 号議案 平成 29 年度正味財産増減決算の件

事務局より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席理事全員一致で承認可決した。

③ 第 3 号議案 賃貸借契約締結の件

事務局より、会計処理規則改定案についての内容説明があった。中瀬監事より、契約期間について質問があった。質疑応答を経て審議の結果、日本殖産興業株式会社と茅場町日殖ビルの賃貸借契約を締結することを出席理事全員一致で承認可決した。

報告事項

① 理事長の業務の執行状況の件

根津理事長より、業務の執行状況について報告があった。

② 常務理事の業務の執行状況の件

矢野常務理事より、業務の執行状況について報告があった。

③ 平成 31 年度以降の展示検討会の件

松原学芸部長より、平成 31 年度以降の展示検討会について報告があった。

④ 美術品棚卸の件

松原学芸部長より、五カ年計画で実施している美術品棚卸の三年目の進捗状況について報告があった。

⑤ 次回理事会日程の件

根津理事長より、次回の理事会は平成 30 年 5 月 28 日 (月) 14 時を予定している旨、報告があった。

開催日 平成 30 年 5 月 28 日 (月) 13 時 45 分～14 時 00 分

場 所 根津美術館 講堂

議事事項

① 第 1 号議案 理事長及び常務理事選任の件

松原理事より、理事長には根津公一理事、常務理事には矢野恵一理事の推薦があり、審議の結果、根津公一理事を理事長に、矢野恵一理事を常務理事に選任することで出席理事全員

一致で承認可決した。

報告事項

① 次回理事会日程の件

根津理事長より、次回の理事会は本年8月9日（木）を予定している、報告があった。

開催日 平成30年8月9日（木） 10時00分～10時40分

場 所 根津美術館 講堂

議事事項

① 第1号議案 平成31年度展示スケジュールの件

松原学芸部長より、平成31年度展示スケジュールについて説明があった。島尾理事より、展示にバリエーションがあり、お客様にも信頼感が出来ているようで安定している、そろそろ冒険をしても良いか、との意見があった。また、後藤監事より、全体的に絵画が多く陶磁器が少ない印象との意見があり、松原部長より、メインは絵画の展示でも陶磁器等も出ているとの回答があった。島尾理事より、広報で使う写真をバランスよく検討したらよい、との意見があった。質疑応答を経て審議の結果、平成30年度展示スケジュール、及び、大規模修繕計画について出席理事全員一致で承認可決した。

報告事項

① 理事長の業務の執行状況の件

根津理事長より、業務の執行状況について報告があった。

② 常務理事の業務の執行状況の件

矢野常務理事より、業務の執行状況について報告があった。

③ 大規模修繕プロジェクトの件

柳瀬管理部長より、大規模修繕プロジェクトの実施状況について報告があった。

④ 塀など構築物の安全対策の件

柳瀬管理部長より、塀など構築物の安全対策の進捗状況について報告があった。

根津理事長より、塀が煉瓦造りであり、壊した蔵と同じだった。石の鳥居も懸案事項である。区や青南小学校に連携を取って進めている。との発言があった。

中瀬監事より、工事期間中の通学路についても検討が必要であるため、連携が重要であるとの意見があった。

⑤ バリアフリー対策の件

柳瀬管理部長より、筑波大学の徳田教授から3回目の指導を受けた旨、報告があった。

開催日 平成31年3月6日（水） 13時00分～13時45分

場 所 根津美術館 講堂

議事事項

① 第1号議案 平成31年度事業計画の件

理事長より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席

理事全員一致で承認可決した。

② 第2号議案 平成31年度正味財産増減予算の件

事務局より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席理事全員一致で承認可決した。

③ 第3号議案 諸規則改定の件

1 茶室利用規則の改定

事務局より、同案についての内容説明があった。中瀬監事より、金額の税込み表記をした方がよいのではないかとの指摘があった。質疑応答を経て審議の結果、原案の付表に税込表記を加筆することで原案を出席理事全員一致で承認可決した。

2 根津倶楽部規則の改定

事務局より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席理事全員一致で承認可決した。

報告事項

① 理事長の業務の執行状況の件

根津理事長より、業務の執行状況について報告があった。

② 常務理事の業務の執行状況の件

矢野常務理事より、業務の執行状況について報告があった。

③ 平成32年度以降の展示検討会実施の件

松原理事より、本日、平成32年度以降の展示検討会を実施する旨報告があった。

④ 次回理事会日程の件

根津理事長より、次回の評議員会は平成31年5月8日（水）を予定している旨、報告があった。

(2) 評議員会

開催日 平成30年5月28日（月） 13時00分～13時45分

場 所 根津美術館 講堂

議事事項

① 第1号議案 平成29年度事業報告の件

館長より、同案についての内容説明があった。近藤評議員より、外国人の来館者増加割合について質問があった。徳川評議員より、巡回警備の成果について質問があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席評議員全員一致で承認可決した。

② 第2号議案 平成29年度正味財産増減決算の件

事務局より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席評議員全員一致で承認可決した。

③ 第3号議案 理事8名選任の件

議長より、本評議員会の終了を以て理事8名の任期が満了となる旨説明があり、根津公一氏、矢野恵一氏、安田弘氏、島尾新氏、渡邊喜雄氏、板倉聖哲氏、松原茂氏に重任を求め、新たに柳瀬茂氏に就任を求めることを、出席評議員全員一致で承認可決した。

席上にて、根津公一氏、矢野恵一氏、島尾新氏、板倉聖哲氏、松原茂氏、柳瀬茂氏が就任を承諾し、理事に就任した。

④ 第4号議案 賃貸借契約締結の件

事務局より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、日本殖産興業株式会社と茅場町日殖ビルの賃貸借契約を締結することを、出席評議員全員一致で承認可決した。

報告事項

① 平成31年度以降の展示検討会の件

松原学芸部長より、平成31年度以降の展示検討会について報告があった。

② 美術品棚卸の件

松原学芸部長より、五カ年計画で実施している美術品棚卸の三年目の進捗状況について報告があった。

③ 次回評議員会日程の件

根津理事長より、次回の評議員会は平成31年3月20日（水）を予定している旨、報告があった。

開催日 平成30年3月20日（木） 13時00分～13時45分

場 所 根津美術館 講堂

議事事項

① 第1号議案 平成31年度事業計画の件

館長より、同案についての内容説明があった。近藤評議員より、文化庁主催「日本博」開催と関連した展覧会開催をしてはどうかと提案があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席理事全員一致で承認可決した。

② 第2号議案 平成31年度正味財産増減予算の件

事務局より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席理事全員一致で承認可決した。

③ 第3号議案 諸規則改定の件

1 茶室利用規則の改定

事務局より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席理事全員一致で承認可決した。

2 根津倶楽部規則の改定

事務局より、同案についての内容説明があった。徳川評議員より、第5条の入会要件について第10条の退会要件と比べ内容がやや曖昧ではないかとの指摘があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席理事全員一致で承認可決した。

報告事項

① 平成32年度以降の展示検討委員会の件

松原学芸部長より、平成32年度以降の展示検討委員会について報告があった。

② 次回理事会日程の件

根津后法子議長より、次回の評議員会は平成31年5月22日（水）を予定している旨、報告があった。

IV 事業報告の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。